

令和7年1月9日

課名	疾病感染症対策課
担当	藤田、松岡
内線	3365、3368
直通	086-226-7331

インフルエンザの患者報告数が過去10年で最多となりました

令和6年12月26日に「インフルエンザ警報」を発令し、県民への注意喚起を図っているところですが、第52週（12月23日から12月29日）に、定点当たりの患者報告数が63.76人となり、過去10年で最も多くなりました。警報発令基準である30人を超えた第51週（12月16日から12月22日）の31.95人から、約2倍に増加しております。また、患者数の増加にあわせて、県内入院基幹定点5医療機関で把握しているインフルエンザによる入院患者報告数も急増しています。

今後も、患者数が高水準で推移していくことが考えられ、県内医療機関の病床や診療がひっ迫する懸念があることから、引き続き、次のとおり県民への注意喚起を図るため、お知らせします。

記

1 感染予防と感染対策の徹底

- ・ 場面に応じたマスクの着用

※特に高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等を訪問する際には、マスクを着用しましょう

- ・ 手洗い、手指消毒の徹底
- ・ 室内の適度な湿度設定、定期的な空気の入換え
- ・ 高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける
- ・ 十分な休養、バランスのとれた食事
- ・ 高齢者や基礎疾患がある方など重症化リスクが高い方で、予防接種がまだの方は早めの接種を検討する

※予防接種により、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります

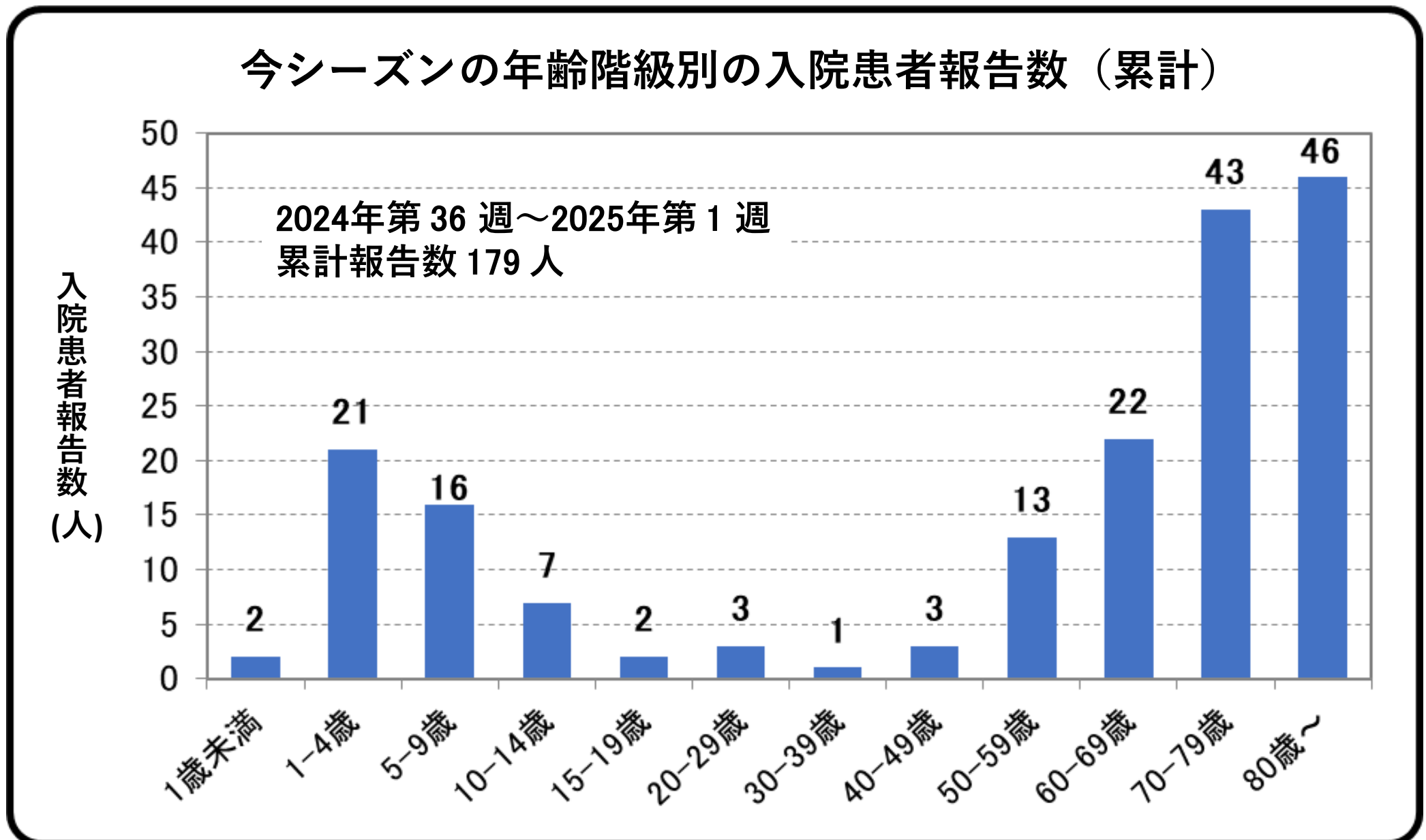
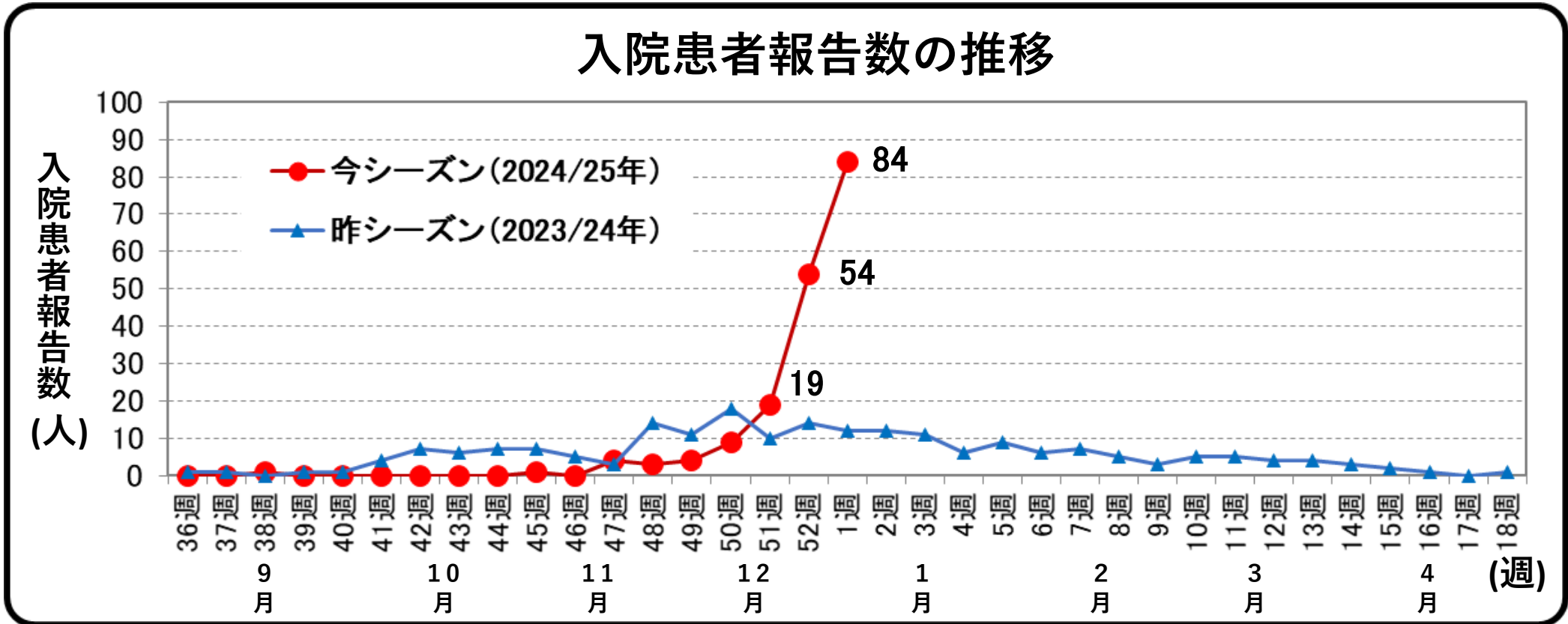
2 発熱等の症状が出た際の対応

- ・ 無理をして学校や職場等に行かないようにしましょう
- ・ かかりつけ医などの医療機関を早めに受診しましょう
※受診の際はマスクを着用しましょう
- ・ 周りの方へうつさないように「咳エチケット」を徹底しましょう
- ・ 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう

【参考】

これまでの最多：2014-2015 シーズン第3週（1月12日から1月18日）の59.21人

岡山県における入院基幹定点（5か所）からの入院患者に関する情報



県民の皆様へ

インフルエンザ 警戒報



発令中です

感染防止策の徹底

手洗い、換気、人混みを避ける



場面に応じてマスクの着用を

予防接種

重症化を予防するために



検討中の方は、お早めに！

詳しくはこちら ▼



症状が出た時は

水分を十分にとり、安静に



早めの受診、
咳エチケットも忘れずに！

©岡山県「ももっち・うらっち」

岡山県

県民の皆様へ

インフルエンザ 警戒報

ザ
発
令
中

予防と対策をお願いします

詳しくはこちら



岡山県